

2025 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要（WEB 公開用）

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [松尾 知哉]

学年・組・番号 [2年 4組 20番]

研究課題： 富士山がもっとも美しく見える場所はどこか
—静岡県御殿場市・富士市・富士宮市の現地踏査による研究—

(英文) Where Is the Best Place to See Mt. Fuji?
—A study Based Field Surveys in Gotemba City, Fuji City, and Fujinomiya City,
Shizuoka Prefecture—

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください)

これまで日本人は富士山を精神的な支えとして敬い、信仰してきた。その圧倒的な知名度と、比類なき美しさは、左右対称性や青と白が織りなす等脚台形といった定型化されたイメージに統一されつつある。だが実際の富士山でそのように見える場所は少なく、様々な形と色を露わにしている。本研究では富士山の魅せる様々な姿について興味を持ちそれについて調べようという思いが動機となった。本研究の計画は、「大沢崩れ」「宝永山」「剣ヶ峰」などに着目し、実際に静岡県の四地点から富士山の写真を撮影する。その写真を基に、「富士山がもっとも美しく見える場所はどこか」という事について考察する。また、その過程で富士山の多様な風景が何故、人々の中で現在に至るまで統一されたイメージとなったのかという事も解き明かしたい。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください)

まず撮影地の四地点に行く前に富士山の絶景スポットを検索した。いろいろな場所が出てくる。それほど富士山は日本の山の中で一番人気であるということがわかる。その中で大沢崩れの影響を受けにくい静岡県の四地点を撮影地に選び、その撮影地に実際にいった。これまで人々が富士山のことを愛しているのが感覚的に深く理解できた。結論として、富士山がこれほどまでに人々に愛され続けている理由を、実際にその場に立つことで実感することができ、富士山は見る者それぞれの人生や記憶を静かに受け止め、時代を超えて人々に「きれい」と言わせ続ける特別な山なのだと感じた。それは単なる観光資源を超えた、数々の人々の思いと文化的価値が合わさったものである。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 松尾 知哉

研究分担者 星野 翔太

山本 凜太郎

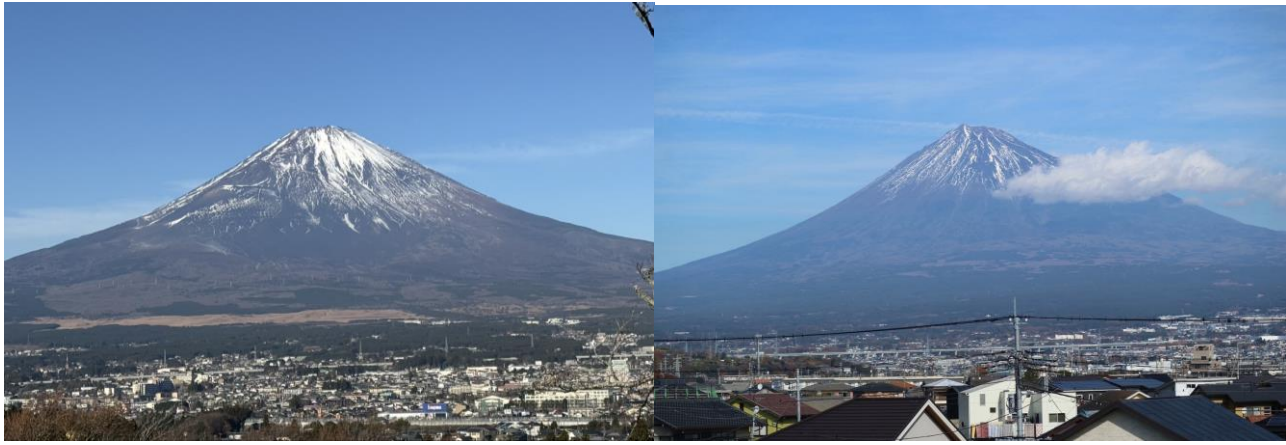
担当教諭 松澤 徹

(受給額：30000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



※12月10日撮影

左、御殿場市（富士見台）

右、富士市（雁公園）



左、富士宮市（イオンモール富士宮屋上展望台）

右、静岡市（三保の松原）



上は三保の松原にて撮影